

4 「スタンダードPLUS+」の測定・分析結果について

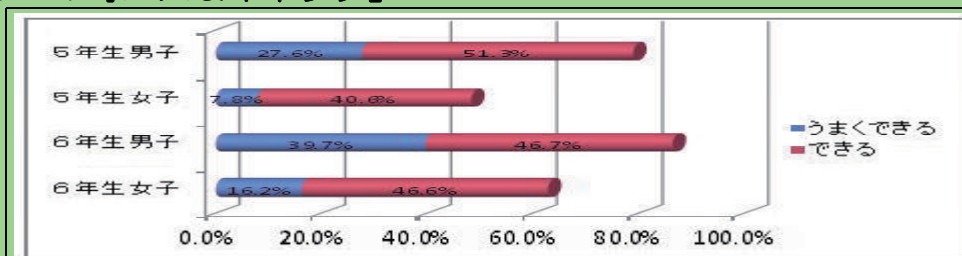
京都府教育委員会では、平成23年10月～12月において府内小学校5、6年生児童約850人を対象に18の発展的動作スキルの獲得状況についての測定、分析を行いました。その分析結果に基づき、新たな指標として「京の子ども元気なからだスタンダードPLUS+」を作成しました。

下の図は、測定で収集したデータをもとに各動作課題の獲得状況を示したものです。動作が獲得できている(*)子どもの割合を「成就率」として表しています。

(*)動作が獲得できている…「うまくできる(4評価)」「できる(3評価)」を対象。

「移動しながら、ボールを投げたり受けたりする」動き

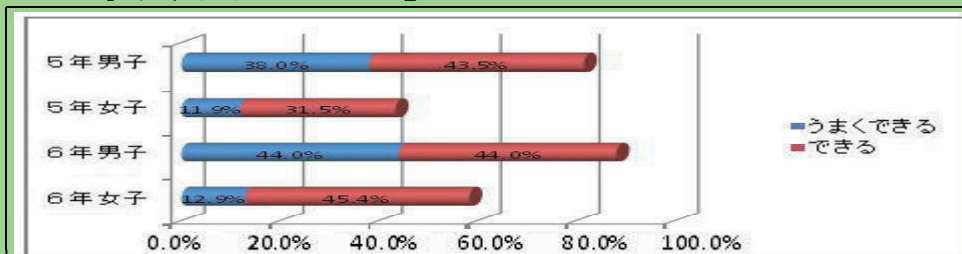
1-1 『パス&キャッチ』



男子の動作の獲得状況が良く、特に6年生男子では成就率が80%を越えている。

しかし、女子の獲得状況が悪く、動作獲得に向けた取組が必要である。

1-2 『キャッチ&スロー』

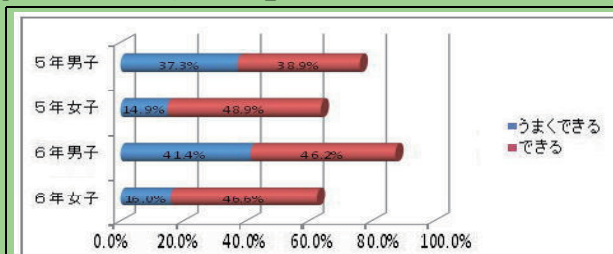


1-1 『パス&キャッチ』と同様に男子の成就率が高い。

しかし、女子の動作の獲得状況が悪く、獲得に向けた取組が必要である。

【参考動作スキル】

『パス&キャッチ』(足でボールを操作する)



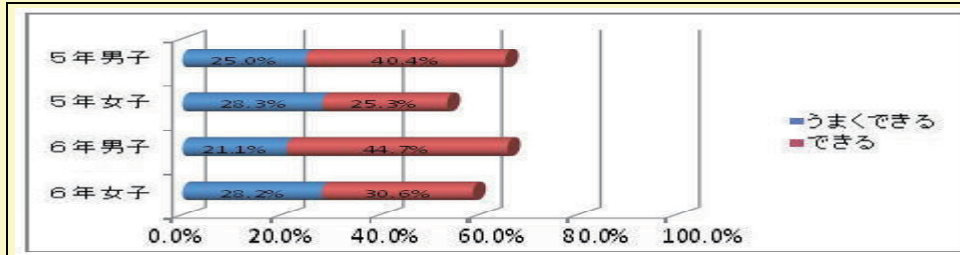
※注…参考動作スキルについて

『パス&キャッチ』(足でボールを操作する)については、測定結果の分析に基づいて難易度、簡便性、他の動作課題との類似性等の理由から、「スタンダードPLUS+」の動作課題から外す結果となりました。

ただ、測定する場所や授業内容等の関係で測定が実施できない場合の代用課題とする「参考動作スキル」として位置付けていますので、状況に合わせて活用してください。

「安定した動きで、体全体をたくみに使う」動き

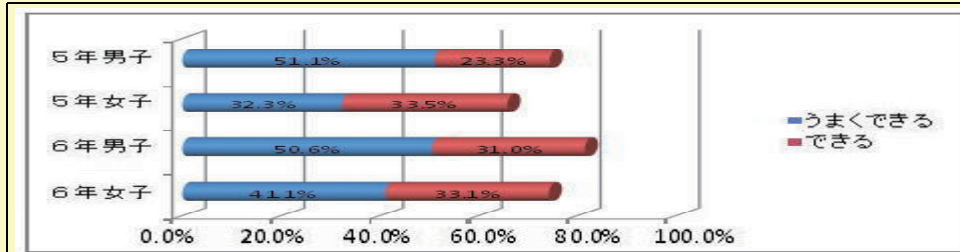
2-1 『側方倒立回転』



全学年とも成就率が約50~60%程度と低い結果となり、動作の獲得状況が悪い。

動作の獲得に向けた取組が必要である。

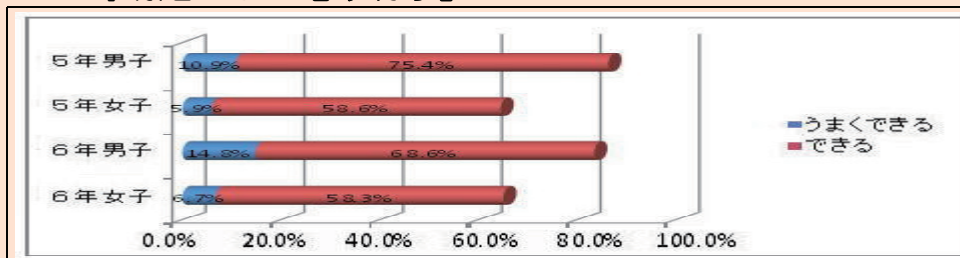
2-2 『30mミニハードル走』



5年生女子を除いて成就率が70%を越えており、「うまくできる(4評価)」の割合も高く、動作の獲得状況は全体的に良い。

「体全体を使って、強い力をすばやく出す」動き

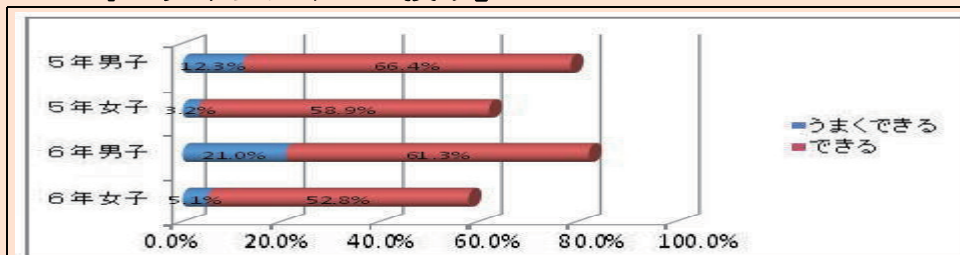
3-1 『助走からの踏み切り』



男子は80%を越える成就率となり、動作の獲得状況が良い。

しかし、女子の成就率は約60%であり、動作獲得状況が悪く、獲得に向けた取組が必要である。

3-2 『メディシンボール投げ』

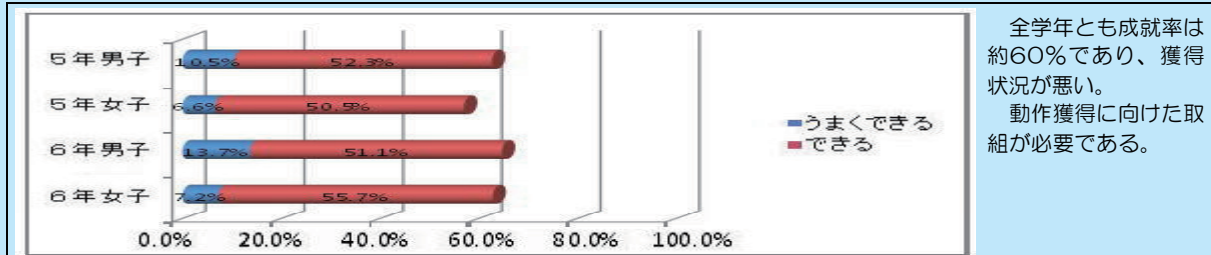


動作の獲得状況は、3-1『助走からの踏み切り』と同様の傾向が見られる。

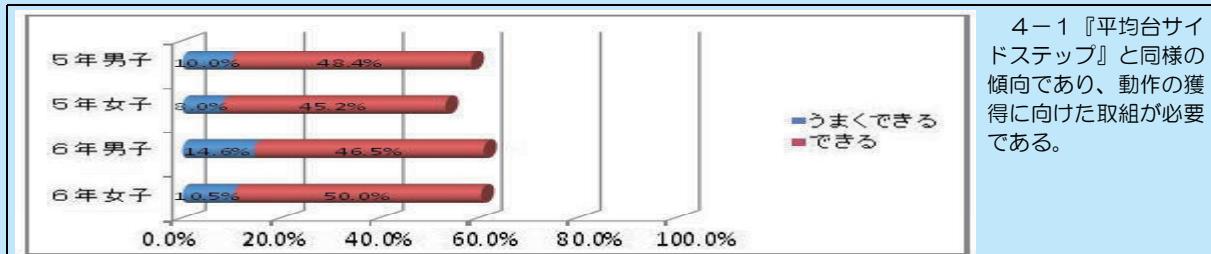
女子の動作獲得に向けた取組が必要である。

「体のバランスを保ちながら、安定して移動する」動き

4-1 『平均台サイドステップ』



4-2 『連続片足跳び』



〔参照〕

別冊「京の子ども元気なからだスタンダードPLUS+」動作課題の測定結果（まとめ）